

◇ 令和3年度第2回稼ぐ観光検討会（書面会議）意見とりまとめ

資料 1

20220328 福島県南会津地方振興局

項 目		意 見	回 答
令和3年度の実績	稼ぐ観光検討会・ワーキンググループについて	検討会は一度のみ、またワーキンググループの活動も見えなかったのが残念だった。各関係団体の位置づけも不明瞭だった。	本検討会のメンバーは、令和2年度に振興局で実施した地域で活動している方々へのヒアリングのほか、各町村からの御意見等を踏まえて選定させていただいた。 なお、令和3年度は事業内容の検討結果等について情報共有が不足していたが、令和4年度は要所で会議を開催し、しっかり情報共有を図っていく。
	観光客動向調査について	宿泊施設の留置アンケートの調査期間が短いと感じた。また、質問で森林に関する内容に特化した理由は何か？	アンケート調査は、令和3年度は試行的に実施したが、令和4年度は令和3年度の実施結果を基に、年間をとおして実施する予定。 また、森林資源は南会津地域の強みの一つであるとともに、WG等でも森林資源の活用について御意見をいただいたため、森林資源への需要に関する質問を盛り込んだ。なお、調査内容は検討会の皆様からの意見を伺いながら検討していきたい。
	モニターツアーについて	当初の計画では、ツアーの企画は検討会メンバーに照会の上、ワーキンググループで検討を行っていくとあったが、照会されたことはあったか？	昨年6月にWGを開催し、観光客動向調査やモニターツアーの内容について検討を行った後で、検討会メンバーへ書面により意見照会を行った。
令和4年度の計画	稼ぐ観光検討会・ワーキンググループについて	昨年の第1回検討会では、課題の共有すら難しかった。焦点を絞って話し合いをしないと大勢のリモート参加の中で何かを共有するのは難しいのではないかと思います。	令和4年度の検討会では、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえながら、オンラインや書面等も活用するなど、円滑な検討が行えるよう工夫するとともに、効果的な協議ができるよう資料を作成したい。
		検討会とWGのメンバーが異なり、また開催時期も離れていることから、WGが終わったタイミングでどのような話があったか共有いただきたい。	令和4年度は、会議開催の都度、しっかり情報共有を図っていく。
	観光客動向調査について	もう少し丁寧な調査が必要かと思うが、事業の方向性があるのであればそこに特化した内容で調査した方が良いのではないかと？	令和4年度の調査は、通年で調査を実施する予定。より詳細な調査を実施できるよう調査項目を追加するなど、検討会の皆様へ御意見を伺いながら進めていきたい。
		対面式のアンケートでは、南会津地域にこういったものがあればまた来たいかなどの質問があれば、具体的に観光客の需要の把握に繋がると思う。	調査内容検討の際の参考とさせていただく。
		南会津の認知経路で、ネット検索が多くを占めているとの事なので、どのようなキーワードや画像、映像が刺さって南会津に来ようと思ったかなど、より詳細に知ることができたら良いと思う。	
		南会津は「ニッチなニーズのある層」の割合が多い地域であると感じている。また、その層こそ南会津の認知度を高めてくれるキーパーソンでもあると思うので、動向や要望をより把握できる設問が必要だと思う。	
	モニターツアーについて	モニターツアーは開催する季節を変えて実施していただきたい。自然が豊かな地域だからこそ季節に関係なく楽しめる旅行商品の造成が必要だと思う。 ツアー参加者へのアンケートも必要。	令和4年度のモニターツアーは、夏と秋に1回ずつ実施する予定。また、ツアーの詳細は検討会等へ意見徴収及び企画プロポーザルにより決定する。 なお、旅行商品造成の参考とするため、ツアー参加者へのアンケートも併せて実施する予定。